

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム なぎみ苑
日付	平成16年4月27日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	・特別養護老人ホーム等での相談援助業務 経験5年 ・介護支援専門員業務 経験3年
自主評価結果を見る（事業者の自主評価結果にリンクします）	
評価項目の内容を見る（岡山県の実定評価項目へリンクします）	
事業者のコメントを見る （評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！）	

外部評価の結果

簡評
全体を通して（特に良いと思われる点など）
（１）入居者が非常に落ち着いて過ごされており、職員と共に生活していると感じられる。 （２）家賃を取っておらず、利用しやすい価格設定である。 （３）建物内は窓も大きく居室・共有スペースともに明るい。廊下に面した壁一面がガラス窓になっており、雄大な奈義山を望むことができ、入居者に安らぎを与えている。 （４）全入居者の居室から中庭に出ることができ、洗濯物を干したり、花壇にて花や野菜等を育成、収穫の楽しみを味わえる。 （５）併設している特別養護老人ホームと連携を密にしており、看護や緊急時の対応も安心できる。
特に改善の余地があると思われる点
（１）居室内に個々の生活感が感じられない。 （２）入浴日（週3回）が決められている為、利用者の意思が反映されていない。 （３）年間の人事異動が多く、入居者の精神面での影響が心配される。 （４）入居者が施設外の活動に関わる機会が少ない。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	快適で安心な生きがいのある生活を創出する為、地域の中にあるグループホームで生活する入居者に対し、日常生活における援助等を行うことにより痴呆の進行を穏やかにし、生活の中での混乱やトラブル等を減少させ安心した生活を支援する。		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	（１）家庭生活・共同生活を意識し、職員と入居者がなじみの関係を作れることを基本としていた。 （２）生き生きしていた頃のその人らしさを取り戻してもらう為、地域的に入居者の中には農業経験者が多いので施設環境を生かし簡単な農作業を提供している。 （３）床や居室の扉は木目調のものを用いることで視覚的に落ち着ける。		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス（つづき）

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	（１）入居者に対する援助方法や言葉掛けについても、決して入居者を否定することなく受け入れた上で、さりげない援助にて行動を促し、自立支援につなげている。 （２）ちぎり絵や農作業等、入居者個々の能力や好みに合わせた取り組みがされている。 （３）居室内は個人の空間として使用が認められている。		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	外部研修への職員参加の機会を作っている。		